

# 国語

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
国語科  
第2学年

## 1. 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	(知識・技能)
(2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を 養う。	(思考・判断・表現)
(3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)相手や場に応じて話したり、表現の工夫などを評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりすることができるように指導を行う。	(知識・技能)
(2)目的に応じて文章を読み、自分の考えを広げることや、効果的に文章を書くことができるように指導を行う。	(思考・判断・表現)
(3)言葉の決まりを理解し、自己の語彙力を高め、伝統的な言語文化に関心を持ち主体的に学習に取り組めるよう指導を行う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	・知識の活用（作品） ・テスト
(2)思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・話し合い活動の振り返り ・文章構成の工夫（作文） ・文章について評価・批評
(3)主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	・学習計画表 ・振り返りシート

4. 年間指導計画

・授業時数 140 時間

・教科書 光村図書 国語2 ・ 光村図書 国語3 ・ 光村図書 中学書写

・副教材 中学必修テキスト2・中学必修テキスト3・パワーアップNEXT国語2・楽しい文法・例文漢字2・新国語便覧

第2学年 国語科

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
4月	12	我が国の言語文化に関する事項	イ			意見を聞き、整理して検討する 単語をどう分ける？ 魅力的な提案をしよう 枕草子 季節のしおり 春 書写	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 ・朗読を通して言葉の響きや調子を楽しみ、四季折々の風物に寄せる作者のものの見方、感じ方に触れる。	現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。	
5月	13	読むこと	ウ			クマゼミ増加の原因を探る 思考の視覚化 情報を整理して伝えよう 熟語の構成 書写	・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。 ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。	文章を構成する六つの部分の関係を図式化して整理している。	文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。	積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。	
6月	14	言葉の特徴や使い方に関する事項	エ			短歌に親しむ 短歌を味わう 言葉の力 類義語・対義語・多義語 書写	・観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。 ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。	情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。	・複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。 ・自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。	進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
7・8月	12	読むこと	イ		メディアの特徴を生かして情報を集めよう 読書を楽しむ 季節のしおり 夏 ヒューマノイド 字のない葉書 書写	・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。	登場人物の言動や伏線に着目し、それらが話の展開にどのように関わっているのかを考えている。 随筆の味わい方について考え、日常の読書に生かせそうな点をまとめている。	過去と現在、伏線と結末を結び付けて、登場人物の言動の意味を解釈している。 前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。	登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。 文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
9月	13	読むこと	イ		表現を工夫して書こう 表現の効果を考える 敬語 聞き上手になろう 同じ訓・同じ音をもつ漢字 モアイは語るー地球の未来 書写	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ・文章の構成や論理の展開について考えることができる。	筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。	・文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 ・自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。	粘り強く論理の展開について考え、学習の見直しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。	
10月	13	我が国の言語文化に関する事項	ア		根拠の吟味 意見文を書く 立場を尊重して話し合おう 月夜の浜辺 季節のしおり 秋 平家物語 書写	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。	・古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・与一や義経の言動、扇の射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。	「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み込んでいる。	進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	
11月	13	我が国の言語文化に関する事項	ア		仁和寺にある法師ー「徒然草」から 漢詩の風景 君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 書写	・観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。	・解説の文章を手がかりにして、詩の作者の思いを想像し、古人のものの見方、考え方について考えを深めている。 ・二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。	・好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。 ・文章の構成や表現の特徴などについて、二つの文章を比較して発見したことを話し合っている。	・進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見直しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	
12月	13	読むこと	ウ		具体と抽象 季節のしおり 冬 話し合いの流れを整理しよう 走る。走らない。走ろうよ。 立場を尊重して話し合おう 「自分らしさ」を認め合う社会へ 走れメロス 一字違いで大違い 書写	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	作品中の漢語を和語に置き換えるなど、印象がどのように変わるかを考えている。	・「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。 ・登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見直しをもって作品の魅力や文章にまとめようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
1月	12	言葉の特徴や 使い方に関する 事項	オ			一字違いで大違い 描写を工夫して書く 話し言葉と書き言葉 送り仮名 国語の学びを振り返ろう 鍵 書写	詩を読んで理解したことや考えた ことを知識や経験と結び付け、自 分の考えを広げたり深めたりする ことができる。	詩の中で使われている言葉に着目 し、語感や表現の効果を考えてい る。	自分の知識や経験と結び付けて、 作者のものの見方について考えて いる。	詩を読んで理解したことや考えた ことを進んで知識や経験と結び付 け、学習課題に沿って作者のもの の見方について話し合おうとして いる。	
2月	13	読むこと	ア			世界はうつくしいと 握手 意見を聞き、適切さを判断する 「走って」いるのは誰？ 説得力のある構成を考えよう 相手や場に応じた言葉遣い 書写	・文章の種類を踏まえて、物語の 展開のしかたなどを捉えることが できる。 ・文章を批判的に読みながら、文 章に表れているものの方や考え 方について考えることができる。	抽象的な概念を表す語句などを 用いて、登場人物の人物像を表し ている。	・「現在」と「回想」の部分を読 み分け、物語の展開のしかたの効 果について考えている。 ・文章の内容に沿って登場人物の 生き方や価値観を読み取り、自分 の知識や経験と比較しながら考え ている。	物語の展開のしかたを粘り強く捉 え、今までの学習を生かして読み 深めた感想を交流しようとしてい る。	
3月	12	我が国の言語 文化に関する 事項	ア			学びて時に之を習ふー「論語」から 季節のしおり 春 作られた「物語」を超えて 具体化・抽象化 論理の展開を意識して書く 熟語の読み方 書写	・歴史的背景などに注意して古典 を読むことを通して、その世界に 親しむことができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深 めたりして、人間、社会、自然な どについて、自分の意見をもつこ とができる。	・教材文を参考に歴史的背景を押 さえ、教材の書き下し文や訓読文 を読むことを通して、「論語」の 世界に親しんでいる。 ・日常生活を振り返り、孔子の言 葉が当てはまる体験を伝え合っ ている	人間の生き方に関する孔子の考え 方を、自分の生き方や生活と関連 づけて考えている。	人間、社会、自然などについて積 極的に自分の意見もち、今まで の学習を生かして考えを伝え合 おうとしている。	

# 社会

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
社会科  
第2学年

## 1. 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の達成するための指導の留意点

(1)基礎的・基本的な知識を習得させながら、既存の知識を実生活や昨今の情勢と関連付けることで、個別の知識の定着を図るとともに、社会において様々な場面で活用できるように知識を概念として獲得できるようにする。また、ICT機器を活用して課題解決に必要な情報資料を自分で考えて収集させたり、収集した情報を社会的な見方・考え方を働かせて読解・分析したり、収集して読み取った情報を整理して課題解決に向けてまとめていく作業を繰り返し行い、情報活用技能を向上させていく。	(知識・技能)
(2)社会的事象個々の仕組みや働きを理解するにとどまらず、社会的事象自体のもつ「多面性」と社会的事象をとらえる時の「多角性」を踏まえて考察させていく。特に現実社会で起こる多種多様な課題を積極的に取り上げ、自分の意見を持たせた上で、他の生徒や社会に存在する様々な立場の意見を検討したり、議論を行っていくことで、自分の意見を根拠を持って再構成したり、表現することができるようにする。	(思考・判断・表現)
(3)社会的事象と実生活が関連した教材を積極的に取り上げることで、生徒が主体的に課題解決に取り組む必要性を感じ、意欲的に課題解決に取り組めるようにする。また、日本の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等について多面的・多角的な考察し、それらの事象について深く理解することで、主権者として自覚を深め、よりよい社会の実現に貢献するために学び続けようとする姿勢を養っていく。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	我が国の国土及び世界の諸地域や歴史の大きな流れを理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期考査、単元テスト、学習の取り組み
(2)思考・判断・表現	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理的、歴史的な課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期考査、単元テスト、学習の取り組み
(3)主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる事象や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	学習の取り組み、活動の観察、学習の振り返り、学習材、小テストなど

4. 年間指導計画

・授業時数 105 時間

・教科書 ・新しい社会 地理（東京書籍）・新しい社会 歴史（東京書籍）

・副教材 ・作業する資料集 アクティブ地理総合（浜島書店） ・中学歴史資料集 学び考える歴史【広島県版】（浜島書店）  
 ・教科書対応ワーク 地理の完全学習 2（正進社） ・教科書対応ワーク 歴史の完全学習 2・3（正進社）

第2学年 社会科

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
4月	3	地理	C	(1)	日本のさまざまな地域 ：地域調査の手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域調査を行う際の視点や方法を理解するとともに、場所などに関わる視点に着目し、地域調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解できる。</li> <li>・地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の選択をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域調査において，対象となる場所の特徴などに注目して，適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	
4～6月	22	地理	C	(2)	日本のさまざまな地域 ：日本の地域的特色 ・自然環境 ・人口 ・資源・エネルギーと産業 ・交通・通信 ・日本の地域区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分布や地域に関する「日本の地域構成」「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」という視点に着目した問いを設定し，諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して，我が国の国土の地域区分や区分された地域の地域的特色を主体的に追究することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解できる。</li> <li>・日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取組などを基に，日本の自然環境に関する特色を理解できる。</li> <li>・少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の人口に関する特色を理解できる。</li> <li>・日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解できる。</li> <li>・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解できる。</li> <li>・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地域構成の特色を，周辺の海洋広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現できる。</li> <li>・それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現できる。</li> <li>・日本の地域的特色を，地域区分などに着目して，それらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
6・7月	19	歴史	B	(3)	<p>近世までの日本と東アジア ：近世の日本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ人のとの出会いと全国統一</li> <li>・江戸幕府の成立と対外政策の変化</li> <li>・産業の発達と幕府政治の推移</li> </ul>	<p>・日本の近世社会の基礎がつくられたことに関する問いを設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本の政治や文化に影響を与えたことなどを主体的に追究することができる。</p> <p>・幕府と藩による支配が確立したことや、都市や各地方の生活文化が生まれたことに関する問いを設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、安定した社会の構築、都市や農村における生活の変化、生産技術の向上や交通の整備などが進んだことを主体的に追究することができる。</p> <p>・幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことに関する問いを設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開などを主体的に追究することができる。</p>	<p>・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解できる。</p> <p>・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解できる。</p> <p>・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解できる。</p> <p>・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解できる。</p>	<p>・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
8月～12月	37	地理	C	(3)	<p>日本のさまざまな地域 ：日本の諸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方</li> <li>・中国・四国地方</li> <li>・近畿地方</li> <li>・中部地方</li> <li>・関東地方</li> <li>・東北地方</li> <li>・北海道地方</li> </ul>	<p>・空間的相互依存作用や地域の特色を端的に示す地理的な事象に着目した問いを設定し、諸資料から考察・表現・議論する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色やそれぞれの地域の課題、事象間の関係性について主体的に追究することができる。</p>	<p>・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。</p> <p>・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域の考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解できる。</p>	<p>・日本の諸地域において、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
1～3月	24	歴史	C	(1)	<p>近現代の日本と世界 ：開国と近代日本の歩み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米における近代化の進展</li> <li>・欧米の進出と日本の開国</li> <li>・明治維新</li> <li>・日清・日露戦争と近代産業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことに関する問いを設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響について主体的に追究することができる。</li> <li>・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことに関する課題を設定し、諸資料から考察・表現・議論する等の活動を通して、明治政府の諸改革が政治や文化が人々の生活に影響を与えたこと、世界との関係や現代の政治とのつながりを主体的に追究することができる。</li> <li>・我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことに関する問いを設定し、諸資料から考察・表現・議論する活動を通して、産業の発展が国民生活や文化に影響を与えたことを主体的に追究することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できる。</li> <li>・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解できる。</li> <li>・自由権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解できる。</li> <li>・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代国家が発展し、近代文化が形成されたことを理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を関連付けるなど近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現できる。</li> <li>・近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	

# 数学

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
数学科  
第2学年

## 1. 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したりして、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の課程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)数の平方根、多項式と二次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し、表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	・数の平方根、多項式と二次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・原則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	単元テスト、課題テスト、定期考査
(2)思考・判断・表現	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	LISIゼミ、単元テスト、課題テスト、定期考査
(3)主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。	毎日数楽、小テストの取り組みなど活動の観察、PDCAシート

4. 年間指導計画

・授業時数 140 時間

・教科書 「中学校数学2」「中学校数学3」

・副教材 「体系問題集代数編1」「体系問題集代数編2」「体系問題集幾何編1」

第2学年 数学科

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
4月	10	C関数	(2)			1次関数	1次関数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。1次関数について、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を身に付ける。	1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。	1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	
5月	8	C関数	(1)			1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二元一次方程式のグラフは、式を変形してできる一次関数のグラフになっていることを理解し、グラフをかくことができる。</li> <li>・連立方程式の解が、2つの二元一次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、グラフを利用して解くことができる。</li> <li>・具体的な事象の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして問題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。</li> <li>・身のまわりには、2つの数量の間の関係を一次関数とみなして問題解決できる場面があることを理解している。</li> <li>・一次関数のグラフを利用して問題を解決できることや、グラフのよさを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> <li>・一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次関数のよさを実感して粘り強く考え、一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次関数を式や表、グラフで表したり、グラフ上の点の座標を求めたりといった、一次関数の基本的な知識・技能は1学年で既習のため、2学年では一次関数と方程式の関係を考察する内容から学習を開始する。</li> </ul>

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
5、6月	18	B図形	(1)			平行と合同	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行線や角の性質を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。</li> <li>多角形の内角の和や外角の和を求めることができる。</li> <li>2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行線や角の性質を理解している。</li> <li>多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認し説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
6・7月	16	B図形	(2)			三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形の性質や二等辺三角形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、角の大きさを求めることができる。</li> <li>直角三角形の合同を利用して図形の性質を証明することができる。</li> <li>平行四辺形の定義や性質、平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明することができる。</li> <li>特別な平行四辺形の性質を利用して図形の性質を証明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。</li> <li>証明の必要性と意味及びその方法について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめた<math>r</math>、証明を読んで新たな性質を見だしたりすることができる。</li> <li>三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>証明のよさを実感して粘り強く考え、図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
8・9月	10	Dデータの活用	(2)			確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>確率の意味や確率の基本的な求め方を理解している。</li> <li>樹形図や表を使って起こりうる場合をあげ、確率を求めることができる。</li> <li>階乗や順列、組合せの考え方や計算方法を理解し、それらを利用して簡単な場合について、場合の数を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解している。</li> <li>樹形図や階乗、順列、組合せの考え方を利用して簡単な場合について、場合の数を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。</li> <li>確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数を基にして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
9・10月	18	A数と式	(2)			多項式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式の乗法・除法の計算ができる。</li> <li>多項式どうしの積を展開できる。また、乗法公式を利用して展開できる。</li> <li>共通な因数をくくり出したり、乗法公式を利用したりして、因数分解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。</li> <li>簡単な一次式の乗法の計算方法を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すでに学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の展開や因数分解をするよさを実感して粘り強く考え、多項式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を生活</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
						<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式や因数分解の公式を利用して、数の計算の結果や式の値をくふうして求めることができる。</li> <li>数の性質が成り立つことを、展開や因数分解を使って証明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用いた問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>		
11月	15	A数と式	(1)		平方根	<ul style="list-style-type: none"> <li>平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。</li> <li>有理数と無理数の意味を理解している。</li> <li><math>\sqrt{\quad}</math>を含む式の乗法や除法、加法や減法の計算ができる。</li> <li>分配法則や乗法公式を利用して、<math>\sqrt{\quad}</math>をふくむ式の計算ができる。</li> <li>数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根の必要性と意味を理解している。</li> <li>数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。</li> <li>具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根のよさを実感して粘り強く考え、数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>		

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
11・12月	15	A数と式	(3)			二次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式の解とその意味を理解している。</li> <li>平方根の考え方、解の公式、因数分解を利用して解く方法を理解し、適当な方法で解くことができる。</li> <li>具体的な問題を、二次方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。</li> <li>因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くことができる。</li> <li>解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>二次方程式を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式のよさを実感して粘り強く考え、二次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
1月	18	C関数	(1)			関数 $y=ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y=ax^2</math>の意味を理解し、<math>y=ax^2</math>の式に表すことができる。</li> <li>関数<math>y=ax^2</math>のグラフをかくことができ、特徴を理解している。</li> <li>放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式を求めることができる。</li> <li>いろいろな事象の中から関数関係を見だし、その変化や対応の特徴を捉え、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y=ax^2</math>について理解している。</li> <li>事象の中には関数<math>y=ax^2</math>として捉えられるものがあることを知っている。</li> <li>いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y=ax^2</math>として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> <li>関数<math>y=ax^2</math>を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y=ax^2</math>のよさを実感して粘り強く考え、関数<math>y=ax^2</math>について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、関数<math>y=ax^2</math>を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	
2月	8	Dデータの活用	(1)			標本調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>全数調査と標本調査の必要性と意味を理解している。</li> <li>簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し、求めたい数量を求めることができる。</li> <li>標本調査の方法や結果を批判的に考察したり、調査の計画を立てたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査の必要性と意味を理解している。</li> <li>コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。</li> <li>簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査のよさを実感して粘り強く考え、標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。</li> </ul>	
2・3月	14	B図形	(1)			相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。また、相似比の意味を理解し、それを利用して線分の長さを求めることができる。</li> <li>三角形の相似条件を理解し、それを利用して2つの三角形が相似かどうか判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。</li> <li>基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</li> <li>平行線と線分の比について性質を見だし、それらを確かめることができる。</li> <li>相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相似な図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>	

# 理科

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
理科  
第2学年

## 1. 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期考査、小テスト、実技テスト、観察、実験レポート
(2)思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期考査、小テスト、レポート
(3)主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	自主学習ノート、行動観察、振り返りシート

4. 年間指導計画

- ・ 授業時数 140 時間
- ・ 教科書 未来へひろがるサイエンス
- ・ 副教材 理科の完全学習 2年  
中学実力練成テキスト 理科2年

第2学年 理科

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
4 5 6	37	第1分野	(4)	(ア)	㊦ ㊧	物質の分解 原子・分子	身のまわりの物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。また、物質は原子や分子からできていることを認識し、分子を化学式で示したり、化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができる。	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案してモデルを使った実習などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現するなど、科学的に探究することができる。	物質の成り立ちに関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
				(イ)	㊦ ㊧ ㊨	化学変化 酸化と還元 化学変化と熱	2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前と異なる物質が生成することを見いだし、さまざまな化学変化を原子・分子のモデルを用いて説明したり、化学反応式で表すことができる。また、酸化と還元が同時に起きていることを見いだし、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づき、化学変化に伴う熱の出入りについても認識することができる。	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、2種類の物質が結びつく化学変化や化学変化における酸化と還元、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現するなど、科学的に探究することができる。	化学変化に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
				(ウ)	㊦ ㊧	化学変化と質量の保存 質量変化の規則性	化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだすことができる。その際、実験で得られた結果をグラフ化するなど、実験結果の処理についての技能も習得する。	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現するなど、科学的に探究することができる。	化学変化と物質の質量に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
6 7 8 9	32	第2分野	(3)	(ア)	㊦ 生物と細胞	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし理解することができる。	生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見だして表現するなど、科学的に探究することができる。	生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
				(イ)	㊦ 葉・茎・根のつくりとはたらき	植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果と関連づけて理解することができる。	植物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	植物の体のつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見だして表現するなど、科学的に探究することができる。	植物の体のつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
				(ウ)	㊦ 生命を維持する働き	消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけ、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解することができる。	動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	動物の体のつくりとはたらきのうち、生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見だして表現するなど、科学的に探究することができる。	動物の体のつくりとはたらきのうち、生命を維持するはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
					㊧ 刺激と反応	動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解することができる。	動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	動物の体のつくりとはたらきのうち、刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、刺激と反応についての規則性や関係性を見だして表現するなど、科学的に探究することができる。	動物の体のつくりとはたらきのうち、刺激と反応に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
9 10 11 12	35	第1分野	(3)	(ア)	㉞ ㉟ ㊱ 回路と電流・電圧 電流・電圧と抵抗 電気とそのエネルギー	回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見だし、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得することができる。	電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	電流に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働きの規則性や関係性を見いだして表現するなど、科学的に探究することができる。	電流に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
					㊲ 静電気と電流	日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見だし、真空放電の実験から、電流の正体について理解することができる。	静電気に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の関係や電子、放射線についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	静電気や電子に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、静電気や陰極線の規則性や関係性を見いだして表現するなど、科学的に探究することができる。	静電気に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
				(イ)	㉞ ㉟ ㊱ 電流がつくる磁界 磁界中の電流が受ける力 電磁誘導と発電	日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解し、直流と交流の違いを捉えることができる。	電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができる。	電流と磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現するなど、科学的に探究することができる。	電流と磁界に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
12 1 2 3	36	第2分野	(4)	(ア)	㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	気象要素 気象観測	地表にあるもののすべてに大気圧 はたらいていることを理解し、 身のまわりの大気の状態を認識す ることができる。また、身のまわ りの大気の状態を継続的に観測 し、気象要素の変化と天気の変化 の関係を見いだすことができる。	気象要素と天気の変化との関係に 着目しながら、気象要素、気象観 測についての基本的な概念や原 理・法則などを理解するととも に、科学的に探究するために必要 な観察、実験などに関する基本操 作や記録などの基本的な技能を身 につけることができる。	気象観測について、見通しをも って解決する方法を立案して観察、 実験などを行い、その結果を分析 して解釈し、天気の変化について の規則性や関係性を見いだして表 現するなど、科学的に探究するこ とができる。	気象観測に関する事物・現象に進 んで関わり、見通しをもったりふ り返ったりするなど、科学的に探 究しようとしている。	
				(イ)	㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	霧や雲の発生	霧や雲のでき方を、空気中の水の 変化と関連づけて理解し、地球上 の水がさまざまな状態で存在し、 霧、雲、雨や雪はその循環の一部 であることを認識することができる。	気象要素と天気の変化との関係に 着目しながら、霧や雲の発生につ いての基本的な概念や原理・法則 などを理解するとともに、科学的 に探究するために必要な観察、実 験などに関する基本操作や記録な どの基本的な技能を身につけるこ とができる。	霧や雲の発生について、見通しを もって解決する方法を立案して観 察、実験などを行い、その結果を 分析して解釈し、霧や雲の発生に ついての規則性や関係性を見いだ して表現するなど、科学的に探究 することができる。	霧や雲の発生に関する事物・現象 に進んで関わり、見通しをもた りふり返ったりするなど、科学的 に探究しようとしている。	
					㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	前線の通過と天気の変化	気圧配置によって、大気の動きが 生じることを理解することができる。	気象要素と天気の変化との関係に 着目しながら、前線の通過と天気 の変化についての基本的な概念や 原理・法則などを理解するととも に、科学的に探究するために必要 な観察、実験などに関する基本操 作や記録などの基本的な技能を身 につけることができる。	前線の通過と天気の変化につい て、見通しをもって解決する方 法を立案して観察、実験などを行 い、その結果を分析して解釈し、 前線の通過と天気の変化について の規則性や関係性を見いだして表 現するなど、科学的に探究するこ とができる。	前線の通過と天気の変化に関する 事物・現象に進んで関わり、見通 しをもったりふり返ったりするな ど、科学的に探究しようとしてい る。	
				(ウ) (エ)	㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	日本の天気の特徴 大気の動きと海洋の影響 自然の恵みと気象災害	日本付近の高気圧や低気圧の移動 と、それに伴う天気の変化を、地 球規模の大気の動きの一部として 捉えることができる。また、大陸 と海洋の温度差によって生じる大 気の動きが日本の気象に影響を与 えることを理解し、さらに、日本 付近で盛衰する3つの気団と関連 づけながら、日本の四季の天気 の特徴とそれが生じるしくみを理解 することができる。	気象要素と天気の変化との関係に 着目しながら、日本の天気の特 徴、大気の動きと海洋の影響、自 然の恵みと気象災害についての基 本的な概念や原理・法則などを理 解するとともに、科学的に探究す るために必要な観察、実験など に関する基本操作や記録などの基 本的な技能を身につけることがで きる。	日本の気象、自然の恵みと気象災 害について、見通しをもって解決 する方法を立案して観察、実験な どを行い、その結果を分析して解 釈し、日本の気象、天気の変化や 日本の気象についての規則性や関 係性を見いだして表現するなど、 科学的に探究することができる。	日本の気象、自然の恵みと気象災 害に関する事物・現象に進んで関 わり、見通しをもったりふり返 ったりするなど、科学的に探究し ようとしている。	

# 音楽

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
音楽科  
第2学年

## 1. 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)音楽表現を創意工夫することや音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	(思考・判断・表現)
(3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)「音楽の構造」を捉えることとを関連付けて指導を行い、音楽を形作っている要素との関りの中で捉えていくことのできるものとして設定する。	(知識・技能)
(2)「音楽を形づくっている要素」の部分は、音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの中から、その題材の学習内容を踏まえて適切に選択して置き換える。	(思考・判断・表現)
(3)「楽しみながら取り組んでいるか」を評価するものではなく、あくまで、主体的、協同的に取り組む際に「楽しみながら」取り組めるように指導を工夫する必要があることを示唆している。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	実技試験・小テスト等
(2)思考・判断・表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて思いや意図を持ったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている	実技試験・小テスト等
(3)主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験・グループ発表時の取り組み

4. 年間指導計画

・授業時数 35 時間

・教科書 教育芸術社「中学生の音楽 2・3上」

・副教材 中学生の器楽、コーラスフェスティバル、音楽のワーク2・3年上

第2学年 音楽科

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
4月	3	A表現	(1)歌唱	ア	イ	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	<p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。</p>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表している。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
5月	3	A表現	(2)器楽	ア	ウ	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	<p>●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。</p>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表している。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
6月	4	A表現	(1)歌唱	ア	イ	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう 「夏の思い出」	<p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。</p>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表している。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
7月	3	A表現	(1)歌唱	ア	ウ	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう 「サンタ・ルチア」	<p>●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。</p>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表している。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
9月	3	B鑑賞	(4)鑑賞	ア	イ	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
10月	3	A表現	(1)歌唱	ア	ウ	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
11月	4	A表現	(1)歌唱	B鑑賞	(4)鑑賞	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう 「合唱祭に向けて」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
12月	3	B鑑賞	(4)鑑賞	ア	イ	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう 「合唱祭」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
1月	3	B鑑賞	(4)鑑賞	ア イ	イメージと音楽との関りを感じ取ろう 「映画音楽について」	音楽の特徴と、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	[思] 音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
2月	3	A表現	(1)歌唱	ア イ	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表している。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
3月	3	A表現	(3)創作	ア イ	音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう	●音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	[知] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもって表している。	[態] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	

# 美術

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
美術科  
第2学年

## 1. 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	(知識・技能)
(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出した豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	(思考・判断・表現)
(3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)造形的な要素とは何か、具体的に説明するとともに表現方法を創意工夫しながら創造的に表わせるよう指導する。	(知識・技能)
(2)参考作品などを例に挙げ、造形的な美しさ、表現の意図や方法などについて、相互鑑賞させ、各自の意見を述べるよう指導する。発想や構想を練ったりするためのアイディアスケッチ、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるよう映像や資料などを鑑賞させる。	(思考・判断・表現)
(3事前に参考作品や参考映像・資料を提示することで意欲を高める。また生徒の完成作品について、相互鑑賞や全体鑑賞を行い、お互いの作品の良さを理解するとともにプレゼンテーション能力を高める。また、鑑賞まとめプリントなどで振り返りを行う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	作品、ワークシート、まとめプリント
(2)思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品、ワークシート、まとめプリント
(3)主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート、授業態度、作品、まとめプリント

4. 年間指導計画

- ・授業時数 35 時間
- ・教科書 光村図書 美術 2・3
- ・副教材 美術資料 広島県版

第2学年 美術科

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
		共通事項	(1)	ア	(ア)						
4月	1	B鑑賞	(1)	ア	(ア)	オリエンテーション うつくしい！	身近なものをもつ美しさやよさに関心をもつ。教科書や資料集などを参考に美術作品に関心をもつ。	身近なものをもつ美しさやよさについて造形的な視点から理解している。教科書や資料集などを参考に美術作品に関心をもっている。	身近なものをもつ美しさやよさについて造形的な視点から考え、美術的な価値観について考察している。	鑑賞の喜びを味わい、身近なものよさや美しさを感じ取るよう主体的に学習活動へ取り組もうとしている。	
4月 5月	4	B鑑賞	(1)	ア イ	(ア) (イ)	ゴッホと浮世絵	作品を鑑賞し、日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考える。また、日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、美術文化への理解を深める。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考えるなどして、美術文化を全体のイメージで捉えることを理解している。	日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、日本や西洋の美術作品について、よさや美しさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
5月	2	A表現	(1)	ア	(ア)	形と色の挑戦1 色の演習 色面構成1	即興的な手法の楽しさを体験する。また、相互鑑賞を通して、色の表現が人にどのように感じ取られるかを知る。	色面構成の目的や技法について理解し、それぞれの個性を独創的に表現している。	豊かに発想している。作品に造形的なよさ、おもしろさがある。	発想をふくらませて、形にしようとしている。	
6月 7月	4	A表現	(2)	ア	(ア)	季節感のある暮らし 季節のイメージ 色の演習 色面構成2	色と形の効果を考えて、自分の発想をもとに、計画的に画面を構成する。	色面構成の目的や技法について理解し、作品の完成度を高めている。	豊かに発想している。作品に造形的なよさ、おもしろさがある。構想が実現している。	着想をふくらませて形にし、最後までていねいに取り組んでいる。	
7月	2	B鑑賞	(1)	ア イ	(ア) (イ)	「最後の晩餐」を鑑賞しよう	作者や作品の背景をもとに、新たな創造を旨とした作者の表現の意図や工夫を感じ取る。	形や色などが感情にもたらす効果や、遠近感や明暗、人物の描写などの造形的な特徴をもとに、レオナルドやルネサンスの美術を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	レオナルドやルネサンスの美術の造形的なよさや美しさを感じ取り、新たな創造を旨とした作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に新たな創造を旨とした作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
8月 9月	4	A表現	(1) (2)	ア ア	(ア) (ア)	地域の魅力を表すパッケージ1 ゆるキャラをテーマとして	既存のゆるキャラをテーマに地域の魅力が多くの人に伝わるようなデザインを模索し、表現方法を工夫してあらわす。	地域の良さを多くの人に伝えるため、色や形に様々な工夫が施されている。	題材の選び方、アイデアが工夫されている。ねらいがうまく表現できている。	作品としての造形表現に、集中して取り組んでいる。	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
9月	1	B鑑賞	(2) (1)	ア	(ア) (イ)	憩いの場をつくる	人々が利用しやすいように設計された公共施設などのデザインの工夫を感じ取り、社会におけるデザインの役割や働きなどを考え、見方や感じ方を深める。感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を深める。	形や色彩、材料、光などが使う人に与える効果を理解し、公共施設のデザインの特徴を捉えている。	社会におけるデザインの役割や働きについて見方や感じ方を深めている。	自分の見方や感じ方を深めながら、公共施設を鑑賞する活動に主体的に取り組んでいる。	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
		A表現	(1) (2)	ア ア	(ア) (ア)						
10月	3	A表現	(1) (2)	ア ア	(ア) (ア)	地域の魅力を表すパッケージ2 オリジナルゆるキャラをテーマとして	自分で発想したゆるキャラをテーマに地域の魅力が多くの人に伝わるようなデザインを考え、表現方法を工夫してあらかず。	地域の良さを多くの人に伝えるため、色や形に様々な工夫が施されている。	題材の選び方、アイデアが工夫されている。ねらいがうまく表現できている。	作品としての造形表現に、集中して取り組んでいる。	
11月	1	B鑑賞	(1)	イ	(ア) (イ)	形や材料で比べる	カップのデザインに関心をもち、使う場面や目的による材料や形の違いなどを考える。感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	形や材料、質感などに着目して、カップのデザインの特徴を捉えている。	使う場面や目的に応じたデザイン役割や働きについて見方や感じ方を深めている。	自分の見方や感じ方を深めながら、カップのデザインを鑑賞する活動に主体的に取り組んでいる。	
11月 12月	5	A表現	(2) (1)	ア イ	(イ) (ア)	形と色の挑戦2 質感表現	紙の素材を用いて、喜怒哀楽をテーマに様々な質感表現をおこなない作品を作る。手法や目的を考えて創作する。	素材について理解し、さまざまな手法を体得しようとしている。テーマに沿って色や形を表現している。	テーマにあったものを作っている。紙の特徴をうまく生かしている。作品に造形的なよさ、おもしろさがある。	創作活動の喜びを味わい、目的を理解して取り組み、加工法を学んで、素材を生かそうとしている。	
1月 2月	6	A表現	(2) (1)	ア イ	(ア) (ウ)	地域の魅力を表すパッケージ3 立体造形 紙立体	オリジナルドリンクのパッケージを通して飲み物の魅力が多くの人に伝わるようなデザインを考える。	飲み物の魅力を多くの人に伝えるため、パッケージの色やデザインに様々な工夫が施されている。	題材の選び方、アイデアが工夫されている。ねらいがうまく表現できている。	作品としての造形表現に、集中して取り組んでいる。	
3月	2	B鑑賞	(1)	イ	(ア)	環境とともに生きる彫刻	自然や公園の中などに置かれた彫刻を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	形や色彩、材料などに着目して、設置された環境との関係などから作品の特徴を捉えている。	設置された環境をもとに、作者の表現の意図や工夫を考え、見方や感じ方を深めている。	自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組んでいる。	

# 保健体育（女子）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
保健体育科  
第2学年(女子)

## 1. 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解させるとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けさせるようにする。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解させるとともに、基本的な技能を身に付けさせるようにする。	(知識・技能)
(2)自己や仲間の課題を発見させ、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫させるとともに、それらを他者に伝えることができるようにする。また、個人生活における健康に関する課題を発見させ、その解決を目指して科学的に思考させ判断させているとともに、それらを他者に伝えることができるようにする。	(思考・判断・表現)
(3)運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組めるようにする。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組めるようにする。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	実技テスト・筆記テスト
(2)思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	実技テスト・筆記テスト ノート
(3)主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習プリント

4. 年間指導計画

・授業時数 104 時間  
 ・教科書 最新中学校保健体育（大修館書店）

・副教材 ステップアップ中学体育

第2学年(女子) 保健体育科

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考	
4月	7	体育分野	A体づくり運動	1.2年	ア, イ	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体の状態や変化に気付き、体を動かす楽しさや心地よさを感じる。</li> <li>体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用する。</li> <li>体ほぐしの運動の意義とその行い方を理解する。</li> </ul>	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動に積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとするなど、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとするなど、話合いに参加しようとするなど、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
6～7月	12	体育分野	E球技	1.2年	ウ	ベースボール型ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。</li> <li>今もっている技能を発揮してゲームを行う。</li> <li>競技の運営やルール、審判の方法を理解する。</li> </ul>	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとするなど、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなど、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
5～7月	10	体育分野	D水泳	1.2年	ア, イ	クロール平泳ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>続けて長く泳いだり、速く泳いだり、あるいは、競い合ったりする水泳の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>続けて長く泳いだり、速く泳いだりするための目標記録や課題を設定する。</li> <li>泳法の特性に応じた技能を活用して泳ぐ。</li> <li>競技やルール、審判の方法を理解する。</li> </ul>	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。</li> <li>平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳に積極的に取り組もうとするともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとするなど、分担した役割を果たそうとするなど、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
8～9月	10	体育分野	Gダンス	1.2年	イ	フォークダンス ソーラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの動きのよさ、感じ方や表現のよさなどを認め合って、誰とでも楽しく踊る。</li> <li>テーマに合った動きを構成したり、踊り方の課題をとらえたり、動きに変化を付けて踊る。</li> <li>みんなで動きを合わせる、調子を合わせるなど、仲間とのかかりをもって踊る。</li> <li>ダンスは、集団や個人で踊り、表現したり交流したりすることが楽しい運動であるという特性や、学習の進め方を理解する。</li> </ul>	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとする、ことなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
9～10月	10	体育分野	F武道	1.2年	イ	剣道	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に適した技を習得し、武道の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>基本動作と対人的な技能との関連を図る。</li> <li>基本動作と自分の能力に適した対人的技能で練習を行う。</li> <li>武道の特性や学習の進め方、基本動作や対人的な技術の構造、自分や相手の課題にあった練習の仕方を理解する。</li> </ul>	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>武道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>剣道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武道に積極的に取り組もうとするとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする、こと、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする、ことなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
11～12月	14	体育分野	B器械運動	1.2年	ウ	平均台運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>技がよりよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、自己や仲間の技のきばえを評価する。</li> <li>習得した技を繰り返したり、条件を変えて行う。</li> <li>器械運動の楽しみ方や学習の進め方、技の系統性や発展性を理解する。</li> </ul>	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動に積極的に取り組もうとするとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、こと、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする、ことなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
12～1月	10	体育分野	C陸上競技	1.2年	ア	長距離走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。</li> <li>・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。</li> <li>・種目の特性や自分の能力に適した練習の方法や、競技の仕方を理解する。</li> </ul>	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走では、ペースを守って走ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
1～2月	12	体育分野	E球技	3年	イ	ネット型 バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。</li> <li>・今もっている技能を発揮してゲームを行う。</li> <li>・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。</li> </ul>	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解することができる。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	
通年	3	体育分野	H体育理論	1.2年	(2)	<p>運動やスポーツの効果・学び方・安全</p> <p>・運動やスポーツの体と心への効果</p> <p>・運動やスポーツの学び方</p> <p>・運動やスポーツの安全なおこない方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解する。</li> <li>・運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解する。</li> <li>・運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解することができる。</li> <li>・運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解することができる。</li> <li>・運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4~9月	8	保健分野	(1)	ア (ウ) , (エ) , イ	2年	<p>生活習慣の健康への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病</li> <li>生活習慣病の予防</li> <li>がんとその予防</li> <li>生活習慣病・がんの早期発見とその回復</li> <li>喫煙と健康</li> <li>飲酒と健康</li> <li>薬物乱用と健康</li> <li>喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の量や質の偏り，運動不足，休養や睡眠の不足などの生活の乱れは，生活習慣病などの要因となることを理解する。</li> <li>喫煙は，心身に様々な影響を与え，健康をそこなう原因となることを理解する。</li> <li>飲酒は，心身に様々な影響を与え，健康をそこなう原因となることを理解する。</li> <li>薬物乱用などの行為は，心身に様々な影響を与え，健康をそこなう原因となることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病などは，運動不足，食事の量や質の偏り，休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また，生活習慣病の多くは，適切な運動，食事，休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解することができる。</li> <li>喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，心身に様々な影響を与え，健康を損なう原因となること。また，これらの行為には，個人の心理状態や人間関係，社会環境が影響することから，それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決に向けて思考し判断しているとともに，表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
10～3月	8	保健分野	(3)	ア、イ	けがの防止と応急手当 ・けがの原因と防止 ・交通事故の実態と原因 ・交通事故の防止 ・自然災害によるけがの防止 ・応急手当の意義と基本 ・けがの応急手当 ・心肺蘇生法の流れ ・心肺蘇生法（実習） ・止血法、包帯法、固定法（実習）	・交通事故や自然災害などによるけがは、人的要因や環境要因などがかかわって発生することを理解する。 ・したがって対策をとれば防げること。交通事故によるけがの多くは、安全な行動、交通環境の改善によって防止できることを理解する。 ・中学生は犯罪被害にあう危険性が増えていること、犯罪被害から身を守るためには、危険予測・危険回避が必要なことを理解する。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく二次災害によっても生じること、また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解する。 ・傷害が発生した際には、その場に居あわせた人による応急手当が重要な意味をもつことを理解する。 ・応急手当を適切におこなうことによって、けがの悪化を防止することができることを理解する。 ・心肺停止した人の応急手当としては心肺蘇生法が有効であること。また、心肺蘇生法には決められた手順とやり方があることを理解する。	・交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解することができる。 ・交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解することができる。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解することができる。 ・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解するとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けることができる。	・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現することができる。	・傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。		

# 保健体育（男子）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
保健体育科  
第2学年(男子)

## 1. 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)生涯にわたって運動に親しむとともに健康保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解させるとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けさせるようにする。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解させるとともに、基本的な技能を身に付けさせるようにする。	(知識・技能)
(2)自己や仲間の課題を発見させ、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫させるとともに、それらを他者に伝えることができるようにする。また、個人生活における健康に関する課題を発見させ、その解決を目指して科学的に思考させ判断させているとともに、それらを他者に伝えることができるようにする。	(思考・判断・表現)
(3)運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組めるようにする。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組めるようにする。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	実技テスト・筆記テスト
(2)思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	実技テスト・筆記テスト ノート
(3)主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習プリント

4. 年間指導計画

- ・授業時数 105 時間
- ・教科書 最新中学校保健体育（大修館書店）
- ・副教材 ステップアップ中学体育

第2学年(男子) 保健体育科

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4月	7	体育分野	A体づくり運動	1.2年	ア, イ	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体の状態や変化に気付き、体を動かす楽しさや心地よさを感じる。</li> <li>・体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用する。</li> <li>・体ほぐしの運動の意義とその行い方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動に積極的に取り組もうとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話合いに参加しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
6～7月	12	体育分野	E球技	1.2年	ア	ゴール型 バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫している。</li> <li>・今もっている技能を発揮してゲームを行う。</li> <li>・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> <li>○技能</li> <li>・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に積極的に取り組もうとともに、フェアなプレイを守ろうとする、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
5～7月	10	体育分野	D水泳	1.2年	ア, イ	クロール 平泳ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続けて長く泳いだり、速く泳いだり、あるいは、競い合ったりする水泳の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>・続けて長く泳いだり、速く泳いだりするための目標記録や課題を設定する。</li> <li>・泳法の特性に応じた技能を活用して泳ぐ。</li> <li>・競技やルール、審判の方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識</li> <li>・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> <li>○技能</li> <li>・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。</li> <li>・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳に積極的に取り組もうとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
8～9月	10	体育分野	Gダンス	1.2年	イ	フォークダンス ソーラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの動きのよさ、感じ方や表現のよさなどを認め合って、誰とも楽しく踊る。</li> <li>テーマに合った動きを構成したり、踊り方の課題をとらえたり、動きに変化を付けて踊る。</li> <li>みんなて動きを合わせる、調子を合わせるなど、仲間とのかかわりをもって踊る。</li> <li>ダンスは、集団や個人で踊り、表現したり交流したりすることが楽しい運動であるという特性や、学習の進め方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなて踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> </li> <li>○技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
9～10月	10	体育分野	F武道	1.2年	イ	剣道	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に適した技を習得し、武道の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>基本動作と対人的な技能との関連を図る。</li> <li>基本動作と自分の能力に適した対人的技能で練習を行う。</li> <li>武道の特性や学習の進め方、基本動作や対人的な技術の構造、自分や相手の課題にあった練習の仕方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>武道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> </li> <li>○技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>剣道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武道に積極的に取り組もうとするとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
11～12月	14	体育分野	E球技	1.2年	イ	ネット型 バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。</li> <li>今もっている技能を発揮してゲームを行う。</li> <li>競技の運営やルール、審判の方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> </li> <li>○技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
		体育分野									
12～1月	10	体育分野	C陸上競技	1.2年	ア	長距離走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>・自分の能力に適した目標記録や課題を設定する。</li> <li>・種目の特性に応じた技能で、練習や競技を行う。</li> <li>・種目の特性や自分の能力に適した練習の方法や、競技の仕方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> </li> <li>○技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走では、ペースを守って走ることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
1～2月	13	体育分野	E球技	1.2年	ア	ゴール型サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを感じる。</li> <li>・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を工夫する。</li> <li>・今もっている技能を発揮してゲームを行う。</li> <li>・競技の運営やルール、審判の方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。</li> </ul> </li> <li>○技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。</li> </ul>	
通年	3	体育分野	H体育理論	1.2年	(2)	運動やスポーツの効果・学び方・安全 ・運動やスポーツの体と心への効果 ・運動やスポーツの学び方 ・運動やスポーツの安全なおこない方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解する。</li> <li>・運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解する。</li> <li>・運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解することができる。</li> <li>・運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解することができる。</li> <li>・運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4～9月	8	保健分野	(1)	ア (ウ) , (エ) , イ	<p>生活習慣の健康への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病</li> <li>生活習慣病の予防</li> <li>がんとその予防</li> <li>生活習慣病・がんの早期発見とその回復</li> <li>喫煙と健康</li> <li>飲酒と健康</li> <li>薬物乱用と健康</li> <li>喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活の乱れは、生活習慣病などの要因となることを理解する。</li> <li>喫煙は、心身に様々な影響を与え、健康をそこなう原因となることを理解する。</li> <li>飲酒は、心身に様々な影響を与え、健康をそこなう原因となることを理解する。</li> <li>薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康をそこなう原因となることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解することができる。</li> <li>喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。</li> </ul>	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
10～3月	8	保健分野	(3)	ア、イ	けがの防止と応急手当 ・けがの原因と防止 ・交通事故の実態と原因 ・交通事故の防止 ・自然災害によるけがの防止 ・応急手当の意義と基本 ・けがの応急手当 ・心肺蘇生法の流れ ・心肺蘇生法（実習） ・止血法、包帯法、固定法（実習）	・交通事故や自然災害などによるけがは、人的要因や環境要因などがかわって発生することを理解する。 ・したがって対策をとれば防げる。交通事故によるけがの多くは、安全な行動、交通環境の改善によって防止できることを理解する。 ・中学生は犯罪被害にあう危険性が増えていること、犯罪被害から身を守るためには、危険予測・危険回避が必要なことを理解する。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく二次災害によっても生じること、また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解する。 ・傷害が発生した際には、その場に居あわせた人による応急手当が重要な意味をもつことを理解する。 ・応急手当を適切におこなうことによって、けがの悪化を防止することができることを理解する。 ・心肺停止した人の応急手当としては心肺蘇生法が有効であること。また、心肺蘇生法には決められた手順とやり方があることを理解する。	・交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解することができる。 ・交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解することができる。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解することができる。 ・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けることができる。	・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現することができる。	・傷害の防止についての学習に主体的に取り組もうとしている。		

# 技術・家庭科（技術分野）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
技術・家庭科【技術分野】  
第2学年

## 1. 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。	(知識・技能)
(2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)技術分野として習得を目指す知識及び技能が，生活や社会で利用されている技術の仕組みと関係する科学的な原理・法則の基礎的な理解，技術を安全・適切に活用する技能，及び生活や社会，環境との関わりを踏まえた技術の概念の理解である	(知識・技能)
(2)技術分野として育成を目指す思考力，判断力，表現力等が，生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし，課題を設定して解決策を構想し，製作図や回路図，計画表等に表現して試行錯誤しながら具体化し，実践を評価・改善することのできる力である	(思考・判断・表現)
(3)技術分野として育成を目指す学びに向かう力，人間性等が，安心，安全で便利な生活の実現や持続可能な社会の構築のために，主体的に技術に関わり，技術を工夫し創造しようとする実践的な態度である	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解している。	定期考査、作品
(2)思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期考査、ノート、作品、プリント
(3)主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，技術を工夫し創造しようとしている。	定期考査、ノート、作品、プリント

4. 年間指導計画

- ・ 授業時数 35 時間
- ・ 教科書 開隆堂「技術・家庭 技術分野」
- ・ 副教材 正進社「技術・家庭ノート 技術分野」

第2学年 技術・家庭科【技術分野】

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
4月、5月	2	A材料と加工	(1)		評価 PDCAサイクル	○評価の説明・シラバス配布 ○ものづくりの意義と、目標を達成するための手順について学ぶ。		人々の願いを実現するための技術を見つけ、役割に気付くことができる。		
	2	B生物の育成	(1)	ア	イ	生活や社会と 生物育成の技術	○生物育成の技術が生活や社会に果たしている役割に気づく。	生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、最適化されてきたことに気付くことができる。		
	2						○様々な作物の栽培方法の違いについて、特徴が分かるようになる。 ○作物を水耕栽培で作物を育てられるようになる。			
6月、7月	8	A材料と加工	(1)	ア	材料の違いと性質	○木材の性質と各部の名称を知る。 ○木の種類や木質材料の性質を知る。 ○プラスチックと金属の性質を知る。 ○材料の違いについて考える。 ○丈夫な構造について知る。 ○製図ができるようになる。(等角図・第三角法による正投影図・キャビネット図) ○自分で目的を考えて設計できるようになる。	木材・金属・プラスチックなどの材料の特徴や使用方法を説明できる。 丈夫な構造や組み合わせについて説明できる。	生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。		
8月	2		(2)	ア		設計・加工(実習)	○自身の設計を見直し、修正できるようになる。 ○設計した図を見て模型を作ることができる。	製作品を自身で考え、設計し、それを図に表すことができる。 図面をもとにして、適切に、手順を考えて加工することができる。	生活の中での問題に気づき、解決するための設計ができる。	
9月	2		(2)	ア			イ			○図と模型をもとに、木材加工ができるようになる。 ○加工の手順や必要な道具、またその使い方がわかるようになる。 ○けがき・切断ができるようになる。 ○ベルトサンダと卓上ボール盤が使えるようになる。 ○組み立て方法や順番がわかるようになる。 ○仕上げができるようになる。 ○作り方について説明できるようになる。
10月～12月	12		(2)	ア	イ					
1月、2月	4	B生物の育成	(2)	ア	イ	生活や社会と 生物育成の技術	○作物・家畜を育てるときの環境について知る。 ○作物の栄養管理について、肥料の三要素が言えるようになる。 ○良い土の構造と悪い土の構造について説明できるようになる。 ○昔と今とでどのように品種改良されたかわかるようになる。	生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術のしくみを説明できる。		
3月	1		(3)	ア	イ	学習のまとめ	○技術の学習を振り返り、技術の見方・考え方について考える。	これまでの学習内容と社会とのつながりを説明できる。		

気温等を見て、適した時期に行う。

# 技術・家庭科（家庭分野）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
技術・家庭科【家庭分野】  
第2学年

## 1. 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)家族、家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協議し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それらに係る技能を身に付けさせる。	(知識・技能)
(2)これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から課題を見いだして課題解決の方法を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。	(思考・判断・表現)
(3)家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践する姿勢を身につけさせる。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	定期考査、調理実習
(2)思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期考査、レポート等
(3)主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている	自己評価シート ふりかえりシート等

4. 年間指導計画

・授業時数 35 時間

・教科書 東京書籍 技術・家庭科【家庭分野】

・副教材

第2学年 技術・家庭科【家庭分野】

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
4月	1	1 食事の役割 と食習慣	B	(1)	ア(ア) 食事の役割	○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。	・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
	1		B	(2)	ア(イ) 健康によい食習慣	○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。	・健康によい食習慣について理解している。	・自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい食生活の実現に向けて、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
5月	1	2 中学生に必要な栄養を満たす食事	B	(2)	中学生の発達と必要な栄養	○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。	・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
	2		B	(2)	栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。	・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。		・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
	1		B	(2)	献立ステップ1 栄養バランスを目で見て判断	○中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。	・中学生の1日分の献立について解決策を構想している。		
6月・7月	2	4 日常食の調理	B	(3)	ア(ウ) 調理の計画	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	
	2		B	(3)	ア(イ) (ウ)イ こんなおいしい魚の調理	○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	
	2		B	(3)	ア(イ) (ウ)イ 調理実習			・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	
8月	2		B	(3)	ア(ウ) おいしさと調理（実験含む）	○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
9月	2	3 さまざまな食品とその保存	B	(3)	ア(ア)(イ)	生鮮食品の選択と保存 食品が食卓にのぼるまで	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。	・食品の選択について問題を見だして課題を設定している。	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	2	4 日常食の調理	B	(3)	ア(ウ)	ますます好きになる肉の調理	○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。	・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見だして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
10月	2	3 さまざまな食品とその保存	B	(3)	ア(イ)(ウ)イ	調理実習		・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見だして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	
	2	4 日常食の調理	B	(3)	ア(イ)(ウ)イ	加工食品の選択	○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。	・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。		・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
11月	1	3 さまざまな食品とその保存	B	(3)	ア(ア)(イ)	食品の安全と情報	○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。	・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
	2	4 日常食の調理	B	(3)	ア(ウ)	好きになる野菜の調理	○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	・野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見だして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
12月	2	4 日常食の調理	B	(3)	ア(ウ)	調理実習		・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見だして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	
1月・2月	2	5 地域の食文化	B	(3)	ア(エ)	地域の食文化	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・和食の調理について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	3	5 地域の食文化	B	(3)	ア(エ)	調理実習（雑煮・手打ちうどんなど）	○地域の野菜を使った手打ちうどん（あるいは郷土料理）づくりにとりくむ。			
	2	6 献立づくり	B	(2)	イ	献立づくり 献立ステップ2		・1日分の献立を作成する方法について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
3月	1	7 持続可能な 食生活	B	(1) (2) (3)	持続可能な食生活をめざして	○持続可能な食生活を送るために 食生活を工夫することができる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。</li> <li>・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。</li> <li>・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	

# 外国語（英語）

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
外国語科【英語】  
第1学年

## 1. 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	(知識・技能)
(2)コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	(思考・判断・表現)
(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 2. 教科の目標を達成するための指導の留意点

(1)言語の使用場面や働きを正しく理解し、コミュニケーションにおける活用できる技能を身に付けられるように指導を行う。	(知識・技能)
(2)身に付けた言語を活用し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、表現したり、伝え合ったりできるように指導を行う。	(思考・判断・表現)
(3)言語の使用場面、相手意識を意識したコミュニケーションを行う場面を明確にし、主体的に学習したことを活用できるように指導を行う。	(主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
(1)知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	定期考査、単元テスト、パフォーマンステスト、学習の取り組みなど
(2)思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	定期考査、単元テスト、パフォーマンステスト、学習の取り組みなど
(3)主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	学習の取り組み、活動の観察、学習の振り返りなど

4. 年間指導計画

・授業時数 175 時間

・教科書 NEW HORIZON English Course 2, NEW HORIZON English Course3 東京書籍

・副教材 教科書準拠問題集、文法問題集等

第2学年 外国語科【英語】

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
4月	12	(4)話すこと (発表)	ア		Unit 3 What kind of job are you interested in? 自分の将来像や夢について考える。	将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。	【知識】不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、するべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書いている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	不定詞(目的を表す副詞的用法) 不定詞(原因を表す副詞的用法) 不定詞(形容詞的用法) It is ...+to
5月	12	(4)話すこと (発表)	ア		Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food 自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。	自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。	【知識】Unit 3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】Unit 3までの学習事項を用いて、いちばん好きな日本食についてその特徴や好きな理由を整理し、メモにまとめて話す技能を身につけている。	自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話している。	自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話そうとしている。	
5月	12	(2)読む	ア		Let's Read 1 History of Clocks 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	【知識】時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。 【技能】時間の経過を表す語句の意味や働きの理解をもとに、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを読み取る技能を身につけている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えようとしている。	
6月	12	(5)書く	ウ		Unit 4 What is important in a homestay? 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。	海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。	・【知】have to、助動詞must、動名詞の形・意味・用法を理解している。 ・【技】: have toや助動詞must、動名詞の理解をもとに、しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて話す技能を身につけている。	海外からの生徒に日本でホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	海外からの生徒に日本でホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	have to、do not have to 助動詞must、must not 動名詞(目的語) 動名詞(主語)
6月	12	(3)話すこと (やりとり)	ウ		Unit 5 What design is good for everyone? だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えることができる。	〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be動詞+形容詞+that〉の文の形・意味・用法を理解している。 〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be動詞+形容詞+that〉の文の理解をもとに、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて話す技能を身につけている。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	疑問詞+to 主語+動詞+(人)+疑問詞+to 主語+be動詞+形容詞+that

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)			学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
7月	12	(4)話すこと (発表)	イ		Unit 6 How can we make a good presentation? 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的な方法について考える。	身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。	【知識】比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	比較表現 (…er, the …est) 比較表現 (more …, the most …) 比較表現 (better, best) 比較表現 (as … as ~)
	12	(4)話すこと (発表)	イ		Stage Activity 2 My School and School Life 自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。	自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。	【知識】Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している 【技能】Unit 6までの学習事項を用いて、自分の学校や学校生活について話す技能を身につけている。	自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明している。	自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明しようとしている。	
	13	(2)読む	ウ		Let's Read 2 A Glass of Milk □物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	【知識】場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。 【技能】場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身につけている。	気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。	気持ちをこめて音読したり英語劇を上演したりできるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取ろうとしている。	
8月 9月	13	(4)話すこと (発表)	ウ		Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? 題材世界遺産の特徴や抱える問題について知り、私たちが取るべき行動について考える。	世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。	【知識】受け身の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実を伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP)	日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	受け身 (平叙文) 受け身 (疑問文) 受け身 (by … つき) 受け身 (助動詞つき)
10月	13	(3)話すこと (やりとり)	ア		Stage Activity 3 Let's Have a Discussion 自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。	自分たちの町の将来について考えるために、自分の立場を明確にして、意見を述べるることができる。	【知識】Unit 7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】Unit 7までの学習事項を用いて、自分の立場を明確にして、意見を述べる技能を身につけている。	自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合っている。	自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合おうとしている。	
11月	13	(2)読む	イ		Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	【知識】時系列を表す文章構成や語句を理解している。 【技能】時系列を表す文章構成や語句の理解をもとに、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。	
12月 1月	13	(3)話すこと (やりとり)	ア		Unit 0 Discover a New Side of Classmates	クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合うことができる。	【知識】現在形や過去形、becauseなどを用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】現在形や過去形、becauseなどを用いた文の理解をもとに、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合う技能を身につけている。	クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)				学習内容	学習の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	備考
2月 3月	13	(5)書く	ウ			Unit 1 What is special about Japanese pop culture? 日本のポップカルチャーについての理解を深め、日本文化が持つ魅力について考える。	日本のポップカルチャーの魅力について、経験や感想と共に伝えることができる。	【知識】 現在完了形（経験用法）を用いた文、SVOC（C=形容詞）、SV00（that節）の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 現在完了形（経験用法）を用いた文、SVOC（C=形容詞）、SV00（that節）の文の理解をもとに、経験や人の気持ちや状態の変化、人やものが私たちに伝えることについて伝え合う技能を身につけている。	海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	現在完了形（経験用法、平叙文） 現在完了形（経験用法、疑問文） SVOC（C=形容詞） SV00（that節）
	13	(3)話すこと (やりとり)	ウ			Unit 2 How do you choose your clothes? エシカルファッションの取り組みを通して、人や環境にやさしい社会の実現について考える。	人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。	【知識】 現在完了形（完了・継続用法）、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 現在完了形（完了・継続用法）、現在完了進行形を用いた文の理解をもとに、今の状況や続いている状態や動作についての情報をたずね合う技能を身につけている。	エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	現在完了形（完了用法） 現在完了形（継続用法） 現在完了進行形 現在完了形、現在完了進行形

# 特別の教科 道徳

広島市立広島中等教育学校(前期課程)  
道徳  
第2学年

## 1. 教科の目標

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

## 2. 学年の重点目標

正しい判断力を持ち、強い意志で物事をやり抜こうとする態度を養う。また、相互理解と信頼を深める協力的な態度を養う。

## 3. 教科の目標を達成するための指導の留意点

道徳的価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考え、人間としての生き方を深める指導を行う。

(主体的に学習に取り組む態度)

## 4. 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	趣旨	評価方法
	生徒の学習状況や、道徳性に関わる成長の様子を継続的に把握する。	個人内評価として見取り、記述により評価する。

4. 年間指導計画

・授業時数 35 時間

・教科書 明日を生きる2 日本文教出版

道徳 第2学年

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)	学習内容	主体的に学習に取り組む態度
4	4	A3 向上心、個性の伸長 C13 勤労 B7 礼儀 A1 自主・自律、自由と責任	・おじいさん役の私 ・おばちゃんのくれた“おまじない” ・挨拶は言葉のスキンシップ ・五月の風～カナ～	たくさんの人の意見から知れることに気づき、広い視野や友人の視点から多面的・多角的に捉えようとしている。
5	3	・B8 友情、信頼 C11 公正、公平、社会正義 B6 思いやり、感謝	・五月の風～ミカ～ ・リスペクトアザーズ ・名乗りでなかった友	道徳的な問題に対して自己の考えを他者と共有する中で、理解を更に深めようとしている。
6	4	A5 真理の探究、創造 C18 国際理解、国際貢献 D19 生命の尊さ C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	・戦争を取材する ・時を越えて一樞野で生まれたまぎな一 ・父の決意 ・和樹の夏祭り	主体的に話し合い、他者との感じ方や考え方の違いに気づき、自分の価値観を広げようとしている。
7	2	B9 相互理解、寛容 C11 公正、公平、社会主義	・他人の靴を履いてみる ・ヨシト	自己の失敗した経験と教材を結びつけ、どう進むべきなのかを真剣に考えている。
8	2	・自主、自律、自由と責任 ・感動、畏敬の念	・ネット将棋 ・樹齢七千年の杉	普段の生活での課題解決に、授業で学んだことを応用し、自己を向上させようとしている。
9	3	D17 よりよく生きる喜び C13 勤労 D20 自然愛護	・自分の弱さと戦え ・小さな工場の大きな仕事 ・上勝から世界を変える	課題に正面から立ち向かう意識をもって、前向きに授業に取り組もうとしている。
10	3	C10 遵法精神、公德心 C12 社会参画、公共の精神 B6 思いやり、感謝	・美しい鳥取砂丘 ・行動する建築家 坂茂 ・夜のくだもの屋	たくさんの人の意見から知れることに気づき、広い視野や友人の視点から多面的・多角的に捉えようとしている。
11	4	C18 アフガニスタンの人々と共に C15 よりよい学校生活、集団生活の充実 D19 生命の尊さ C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	・アフガニスタンの人々と共に ・制服は誰のもの ・命を見つめて一猿飛腫さんの六百四十六日一 ・行く年、来る年	人間の意志の弱さと向き合ったうえで、よりよく生きたいという意識をもっている。
12	3	B9 相互理解、寛容 C12 社会参画、公共の精神 D19 最後のパートナー	・コトコの涙 ・マークはなんのために？ ・最後のパートナー	他者とのつながりの中で自分がいることを実感し、授業で学んだことをもう一度捉え直そうとしている。
1	3	A2 節度、節制 D20 自然愛護 D22 よりよく生きる喜び	・避難所にて ・よみがえれ、えりもの森 ・足袋の季節	日常の中でも、大切な価値観について考え続けようとしている。
2	3	B8 友情、信頼 C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	・恋する涙 ・包む	教材から多くの学びを受け取り、前向きに自分の考え方へ反映させようとしている。

月	時数	学習指導要領との関連 (主たる指導内容)	学習内容	主体的に学習に取り組む態度
3	1	C14 家族愛、家庭生活の充実	・きいちゃん ・1年間の振り返り	日常生活からも、深めるべき価値を捉えなおそうとしている。



備考